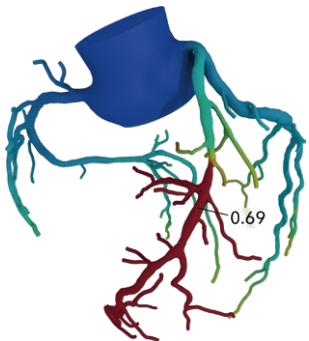


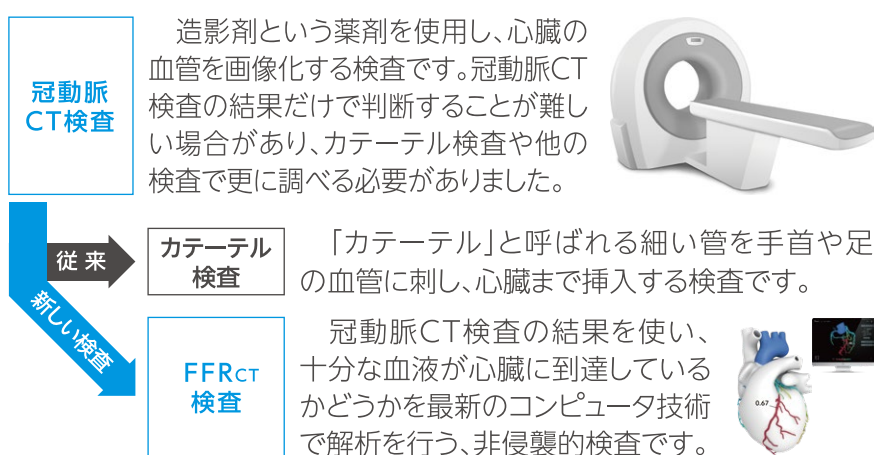
心臓に優しい検査、 FFR_{CT}検査を 導入しました。



当院では6月から新しい心臓検査であるFFR_{CT}(エフエフアールシーティー)検査を開始しました。現時点では全国でも数少ない導入施設で、岐阜県内では2番目の導入となりました。

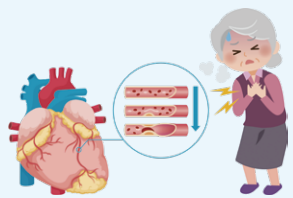
この検査は、虚血性心疾患が疑われる患者さんを正確に診断するために、冠動脈CT検査の結果を使い、十分な血液が心臓に到達しているかどうかを検査するものです。

FFR_{CT}検査の流れ



虚血性心疾患とは

心臓の血管が詰まったり、狭くなることで血液の流れが悪くなり、心臓の筋肉に十分な栄養や酸素が運べなくなります。胸が苦しいなどの症状を感じるようになります。主な病気の名前：狭心症、心筋梗塞



FFR_{CT}検査の特徴

■重症度を色や数値で判別

検査結果は数値と色で表示されます。色は信号のように青、黄、赤の順で血液の流れの状態を表し、赤は血液の流れが悪くなっていることを示しています。

数値は0.75以下が虚血あり、0.8以上が虚血なしと表します。

■痛みがなく、心臓に優しい検査

従来の検査では血管の中にカテーテルを入れることで痛みを伴いましたが、コンピューターでのシミュレーションにより、痛みを伴わず血液の流れを測定できます。

■検査入院がなく、検査の待ち時間が少ない

カテーテル検査では入院が必要でしたが、FFR_{CT}検査は冠動脈CTの検査結果のみを使用するので追加検査がなく、検査入院も必要ありません。

全ての患者さんにFFR_{CT}検査が適用されるわけではありません。詳しくは主治医に検査についてお問合せください。

当院のFFR_{CT}検査は循環器内科が担当しております。
FFR_{CT}検査や医師の詳細は当院のホームページをご覧ください。

松波総合病院
「FFR_{CT}検査」



次のページは、「アザ・シミのレーザー治療」について

Matsunami Information

NEWS

当院をご利用される皆さまへ、新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

面会禁止、
夜間施設について



発熱症状で
受診される方へ

来院前に
ご確認ください



引き続き、多大なご迷惑とご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。各お知らせの詳細は、左のQRコードよりご確認ください。

松波総合病院柔道練習会のご案内

当院の柔道部発足に伴い、柔道の練習会を開催しています。柔道経験者だけでなく、未経験の方でも一からご指導します。女性の方には、護身術をお教えいたします。

右記の日程・場所で行っておりますので、ご家族・ご友人などお誘い合わせのうえ、参加される方は、右記の連絡先に事前申し込みをお願いします。

日 時	毎週月曜日・木曜日 (祝日は休止です) 17時30分～19時00分
場 所	笠松中央公民館 1階 多目的室 柔道場
連絡先	058-388-0111 (内線 51668) 松波総合病院 柔道部監督 松井

入院中のWi-Fi接続 サービスの提供について

5月13日(金)より、入院中のWi-Fi接続サービスを提供しております。入院中の患者さんは、無料でWi-Fiの利用が可能です。なお使用にあたっては、ワンタイムパスワードが必要となります。詳細につきましては、入院時にお渡しする「Wi-Fi設定のご案内」でご確認ください。

柔道部からのお知らせ

当院の柔道部が、6月5日(日)に行われた「第58回岐阜県柔道体重別選手権大会」に出場し、下記の結果となりました。

この大会結果は岐阜県国体選手選考に影響し、優勝した杉浦選手、森部選手の選出が有力視されています。国体選手に選出された場合、女子は8月21日(日)開催の「国民体育大会第43回東海ブロック大会」予選に出場予定、男子はブロック大会を行わず、10月8日(土)に栃木で開催の「第77回国民体育大会(いちご一会とちぎ国体)」本大会に出場予定です。皆さまのご声援をよろしくお願い申し上げます。



結果	一般男子73kg以下級	杉浦 冬唯(業務部)	優勝	一般男子90kg以下級	尾崎 良慶(看護部)	第3位
	一般女子57kg以下級	森部 真鈴(診療支援部)	優勝	一般女子無差別級	サリナス リョウコ(医事課)	第3位
	一般男子60kg以下級	西 祐隼(業務部)	準優勝			

駐車場のご案内

立体駐車場への入庫は、左折のみとさせていただきます。右折入庫は渋滞の原因となりますので、右折入庫をなさらないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



ARアプリ COCOAR導入しました!!

アプリを起動し、
「月刊まつなみ」の表紙でお試しください!!



ダウンロード・詳しい使い方は
こちらから! (リンク先は病院HPです)



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院

〒501-6062
岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

TEL 058-388-0111 (代)

FAX 058-388-4711

<https://www.matsunami-hsp.or.jp/>



アザやシミなどの色素疾患でお悩みの方へ

当院では、痛みが少なく傷も残りにくい「Qスイッチルビーレーザー治療」を行っています。

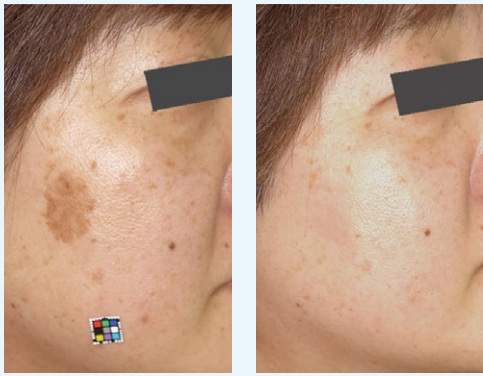
色素疾患とレーザー治療

色素疾患であるアザやシミは全て、皮膚内部のメラニン色素による着色沈着が原因の症状です。

一般的にシミと呼ばれる老人性色素斑やそばかす(雀斑)は、メラノサイトという細胞が紫外線などの強い刺激を受けると活性化し、肌を守るために大量のメラニン色素を生成します。この生成量が多すぎたり、加齢により皮膚の代謝が追い付かなくなって、排出されずに残ったメラニン色素が蓄積されて、色素沈着を起こします。

そのほか、生まれつきまたは後天的に出来るアザの太田母斑や異所性蒙古斑、扁平母斑があります。これも皮膚内部にあるメラニン色素が原因です。

このことから色素疾患を治療する為には、メラニン色素に反応するレーザーを利用する事が効果的です。レーザー機器のひとつ「Qスイッチルビーレーザー」は、メラニン色素への吸収率が高い波長の光を使用し、メラニン色素のみを選択的に破壊することによって、周囲の正常な皮膚へのダメージを最小限にしながら治療を行うことが可能です。



▲レーザー治療前 ▲レーザー治療後

【施術：Qスイッチルビーレーザー】
レーザーによるメラニン色素除去・シミの治療。

【料 金】要相談。

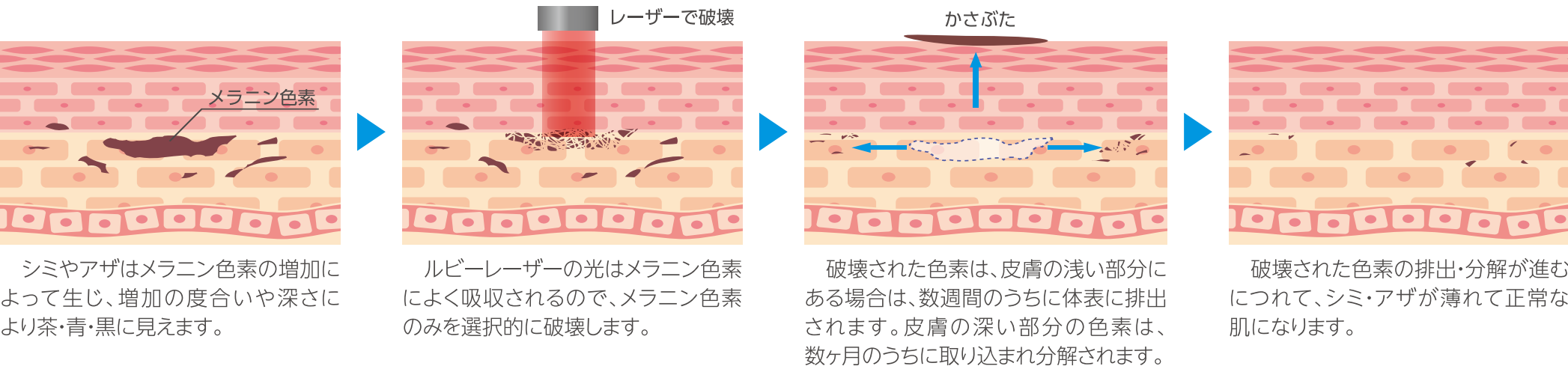
【副作用】皮膚の赤みが数週間。
皮膚再生に伴うかゆみ。

【治療間隔】3か月以上空けて数回。
(TEL:058-388-0111)

そのほかにもこのような特徴があります。

- 治療の痛みや身体への負担が少ない
治療中はゴムで弾かれたような痛みを伴うことがありますが、治療の傷が残ることはほとんどありません。
 - 治療時間が短い
外来通院で治療することができます。
- 当院の形成外科では、「Qスイッチルビーレーザー(Q-SW ルビーレーザー IB101)」を導入し、色素疾患の治療を行っています。

レーザー治療の仕組み



レーザーで治療可能な疾患

当科では、以下の症状についてレーザーによる治療を行っています。

- ★太田母斑(青アザ)
顔の片側のひたいから目元、頬といった範囲に限って現れる青あざ。思春期以降の大人になってからできることがあります。
- ★異所性蒙古斑(青アザ)
おしり以外の部位にできた青あざを「異所性」蒙古斑と呼びます。一般の蒙古斑と比べ、異所性は消えにくいことがあるため治療適応の疾患になります。
- ★扁平母斑(茶アザ)
皮膚の表皮にメラニンが多くあることで、茶色いアザとして見えます。老人性色素斑は異なるもので、ほとんどが生まれつき存在します。
- 老人性色素斑(シミ)
加齢とともにできやすく、紫外線によるメラニン色素の増加によってできるシミ。

- ★外傷性刺青
事故などによるすり傷ができた際、皮膚内に色のついた異物が皮膚にとどまったまま傷がふさがることでできる着色沈着。これは異物によるアザですが、レーザー治療で治療できます。

★：レーザー治療で
保険適応となる疾患



治療上の注意

- 治療期間 シミやアザの大きさや深さによっては、複数回の治療が必要になります。
- 治療後 患部が白色になった後、赤みが出現します。患部を創傷被覆材で約1週間保護します。照射後2週間～4週間ほどで、炎症後色素沈着がおきますが、時間とともに消えて目立たなくなります。
- お手入れ 治療後の患部は色素沈着が生じやすい状態ですので、日焼け止めクリームやテープなどで遮光が必要です。
- 副作用 色素残存が起こる場合があります。また、一部光エネルギーが熱に変わるため、軽いやけどを生じます。きわめて稀ですが瘢痕(傷あと)を生じることがあります。色素沈着や色素脱失が生じることがあります。

担当医師プロフィール



形成外科部長
北澤 健 (きたざわ たけし)

専門分野
▶ 形成外科全般 特に眼瞼手術、マイクロサージャリーを応用した切断肢再接着や皮弁術による再建など
資格
・日本形成外科学会:専門医、皮膚腫瘍外科分野指導医、再建・マイクロサージャリー分野指導医 ・日本手外科学会:手外科専門医、指導医 ・日本乳房オンコプラステックサージャリー学会:乳房再建用エキスパンダー、インプラント責任医師

所属学会
・日本形成外科学会 ・日本手外科学会 ・日本マイクロサージャリー学会 ・日本乳房オンコプラステックサージャリー学会 ・国際形成外科学会

略歴
・1991年 弘前大学医学部 卒業 ・1991年 信州大学医学部附属病院 形成外科研修医 ・1993年 埼玉医科大学総合医療センター 形成外科助手 ・1996年 信州大学医学部附属病院 形成外科医員 ・1998年 長野赤十字病院 形成外科副部長 ・2002年 信州大学医学部附属病院 形成外科助手 ・2004年 松波総合病院 形成外科部長